



越水部分下流の阿蔵新橋に集積した大量の流木
橋梁への流木の集積は極めて悩ましい問題！

近年の大規模水・土砂災害の特徴は

(1) 防災力を大幅に上回るような災害外力が頻繁に出現するようになってきた(我々のインフラが対応できなくなって、社会の脆弱性が顕現)

例: 昨年の伊豆大島、今年の高島の土石流災害

(2) 水・土砂災害の様相(性質)が変わってきている。洪水だけでなく、土砂・流木対策も必要

2. 気候変動下の水・土砂災害に対してどう対応するか？

諺に

『賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ』

ところが、歴史も経験も智恵も最新の科学技術も
総動員して当たらないととても対抗出来ない。

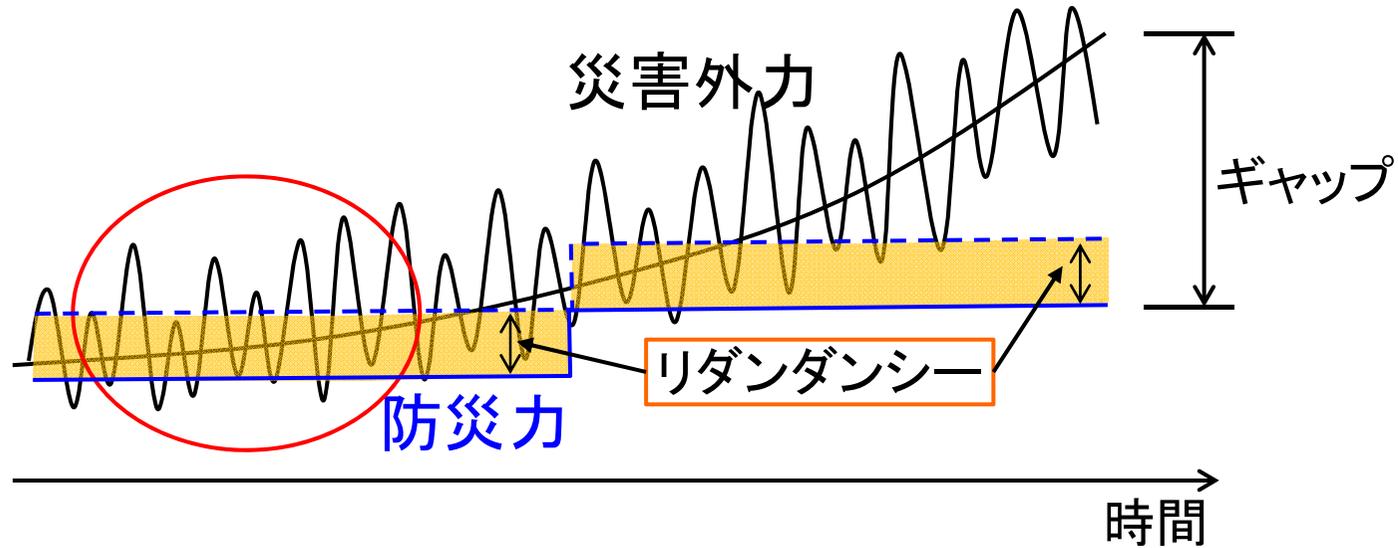


それ程、地球温暖化による災害外力の増大
は大変なこと！

公助がなすべきこれからの適応策



災害外力上昇の下でのリダンダンシーの重要性



リダンダンシーがあれば...

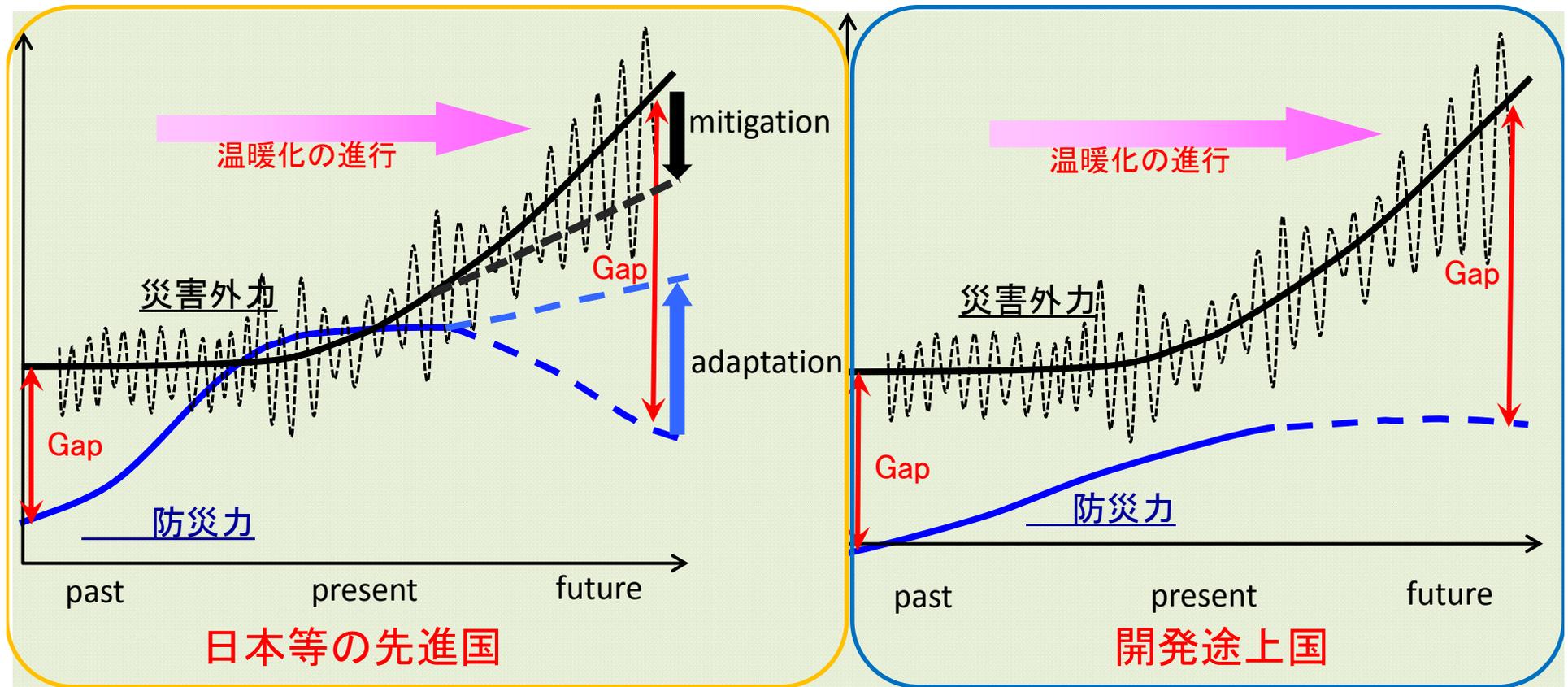
災害の発生 →

(何とか人命の損失無しで)アウェアネス

それからでも対策を取れる

良い形のサイクルが出来る

防災力の強化のために



過去や途上国から学ぶ適応策

- ・先進国において将来の状況は過去と類似性を持つ。
- ・しかしながら現在の高い安全度の故に過去の先人の知恵を忘れる。
- ・途上国の地域の人々の伝統的防災の知恵を謙虚に学ぶ。



先人の知恵 流木問題の解決

仁淀川の沈下橋

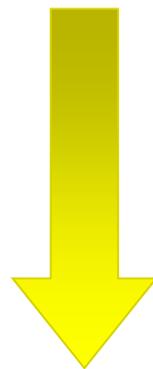
四万十川の沈下橋

今も使われてて
流木も引っかから
ない

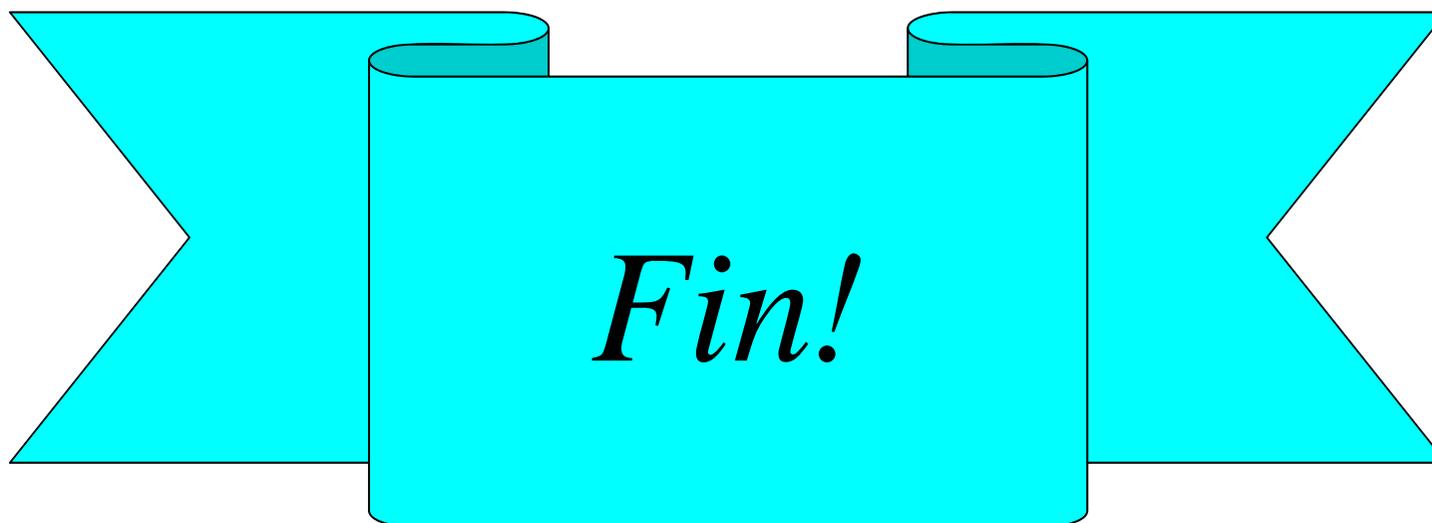


3. おわりに 「美しい国」とは・・・

- 飾り立てた特別な美しさではなく、近い将来に巨大災害などで社会が揺らいでも、自国内にしっかりとした生存の備え（リダンダンシー）がある国。
- 安定していて危機にも強い国。
- 被災などして絶望的な状態の時に暖かさを感じられる国。
- 誇りとなるような伝統・文化をきちんと伝承している国。



自給・循環の仕組みが成立している安全・安心な国



ご清聴、ありがとうございました